



2011年4月11日18時00分
独立行政法人 放射線医学総合研究所

3月24日に被ばくした作業員が経過観察で放医研を受診

独立行政法人 放射線医学総合研究所(理事長：米倉 義晴)

放射線医学総合研究所(以下、放医研)は、東京電力福島第1原子力発電所3号機での作業中に被ばくされた協力会社の作業員3名を3月25日の午後を受け入れましたが、本日、この3名が経過観察のために放医研を再受診されました。

診察・検査の結果、3名とも白血球やリンパ球の数の減少などの所見は認められず、健康状態に問題はありませんでした。

また、足に局所被ばくのあった2名の方の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは出現しませんでした。2名の方の皮膚の被ばく線量は、熱傷の症状や紅斑などが出現しなかったことにより、前回の推定値である2～3シーベルトを下回ると推定されました。